

<第4学年　日本語評価基準>

| 単元名 | ねらい | 評価基準 | | |
|-----------------------|---|--|---|---------------------------------------|
| | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 日本語の響きやリズムを楽しもう<1>俳句① | 俳句を読み、何度も繰り返し朗誦することを通して、ことばの響きやリズムを楽しむ。 | ことばの響きやリズムを楽しみながら、俳句を工夫して音読することができる。 | ことばの響きやリズムを考えながら俳句をつくることができる。 | おおよその意味を知り、俳句に描かれた情景や思いを想像しようとしている。 |
| 日本語の響きやリズムを楽しもう<2>古文① | 古文を読み、何度も繰り返し朗誦することを通して、ことばの響きやリズムを楽しむ。 | ことばの響きやリズムを楽しみながら、古文を工夫して何度も音読することができる。 | 「春はあけぼの」の文型をもとに季節の情景や自分の思いを表現することができる。 | 「春はあけぼの」に描かれている四季の情景を想像しようとしている。 |
| ことばっておもしろい① | 日本に古くから伝わる色の名前に込められた思いを知り、なぜ日本には多種多様な色を表す言葉があるのかを考える。 | 色を表す言葉がある理由を日本の伝統や文化、自然の豊かさと関連付けて考えようとしている。 | 色の名前とその意味に関心をもち、友達と話し合うことを通してことばのおもしろさを楽しむ。 | 日本に古くから伝わる色を調べ、すすんで意味を考えている。 |
| 世界のこんにちは① | 世界にはどんなあいさつがあるのか知り、世界の国や地域についての興味・関心を高める。 | 調べたことを友達に紹介したり、友達の紹介を聞いたりして、さらに知りたいことを考えることができる。 | あいさつの意味や由来をすすんで調べ、調べたことを紹介することができる。 | 世界の国々について、知りたいことや体験してみたいことを考えることができる。 |
| 日本語の響きやリズムを楽しもう<3>詩① | 詩を読み、何度も繰り返し朗誦することを通して、ことばの響きやリズムを楽しむ。 | ことばの響きやリズムを楽しみながら、詩を工夫して音読することができる。 | おおよその意味を知り、詩に描かれた情景や思いを描くことができる。 | 繰り返し詩を読むことを通して、日本語の響きやリズムに親しもうとしている。 |
| ことばっておもしろい② | 「慣用句」について理解し、ことばについての興味・関心を高める。 | 「慣用句」について理解することができる。 | どのような意味からそのことばが誕生したのか辞書を使って調べ、調べたことを紹介することができる。 | すすんで慣用句の意味を考えようとしている。 |

| | | | | |
|-----------------------------|--|---|---|--|
| 日本語の響きやリズムを楽しもう<4>俳句① | 俳句を読み、何度も繰り返し朗誦することを通して、ことばの響きやリズムを楽しむ。 | ことばの響きやリズムを楽しみながら、俳句を工夫して音読することができる。 | おおよその意味を知り、秋を表す言葉を使って俳句をつくることができる。 | 繰り返し俳句を読むことを通して、日本語の響きやリズムに親しもうとしている。 |
| 日本語の響きやリズムを楽しもう<5>論語① | 論語を読み、何度も繰り返し朗誦することを通して、ことばの響きやリズムを楽しむ。 | ことばの響きやリズムを楽しみながら、論語を工夫して音読することができる。 | 日常生活に関連させて考えることができる。 | 繰り返し論語を読むことを通して、日本語の響きやリズムに親しもうとしている。 |
| 「衣・食・住」について調べよう④ | 身近な日本の「衣・食・住」について調べ、昔からの日本人の知恵、工夫が生きていることに気付く。 | 身近な日本の「衣・食・住」について調べる方法や調べたいことを決め、計画的に調べようとしている。 | 身近な日本の「衣・食・住」について調べたことを発表することができる。 | 文化やくらしの変化などについて、現代に伝えてきた日本人の心に触れることができる。 |
| 日本語の響きやリズムを楽しもう<6>詩① | 詩を読み、何度も繰り返し朗誦することを通して、ことばの響きやリズムを楽しむ。 | ことばの響きやリズムを楽しみながら、詩を工夫して音読することができる。 | おおよその意味を知り、詩に描かれた情景や思いを描くことができる。 | 繰り返し詩を読むことを通して、日本語の響きやリズムに親しもうとしている。 |
| 日本語の響きやリズムを楽しもう<7>漢詩① | 漢詩を読み、何度も繰り返し朗誦することを通して、ことばの響きやリズムを楽しむ。 | ことばの響きやリズムを楽しみながら、漢詩を工夫して音読することができる。 | おおよその意味を知り、漢詩に描かれた情景や思いを描くことができる。 | 繰り返し漢詩を読むことを通して、日本語の響きやリズムに親しもうとしている。 |
| 一冊の本から 本を読んで友だちについて考えよう<1>① | 仲間について書かれた作品を読んで、仲間の大切さを知るとともに友達や家族について考えてみる。 | 仲間について描かれている本を読み、仲間について考えることができる。 | 友達と仲間について話し合うことができる。 | すすんで本を読んだり本を通して友達や家族について考えたりすることができる。 |
| 百人一首<1>② | 「百人一首」の短歌を、響きやリズムを楽しみながら読み、カルタ遊びをする。 | 日本の四季折々の美しさや日本人の奥深い心を味わいながら百人一首を読む。 | 友達とカルタ遊びを楽しんだり、オリジナルの百人一首を作ったりして日本語の響きやリズムを楽しむことができる。 | カルタ遊びを通して、百人一首に親しもうとしている。 |